

事例ノート. CASE1

千葉県市原市
有限会社 網谷ホーム 様

「輸入住宅のエクステリアならココ!」と ハウスメーカーからも お客様からも信頼される本格派



専務取締役・網谷正則様

父が脱サラをして創業したのが29年前。私は学校を卒業後、他の会社に入社し、2年半修行してエクステリアの基礎を身につけて帰りました。それを機に有限会社を設立。平成元年のことでした。

当時から仕事はハウスメーカーの紹介が中心。現在でもエンドユーザーのお客様は20%ほどで、あとはハウスメーカーからの紹介です。とはいえ、下請けという立場ではなく、ハウスメーカーと協力し合う関係になっています。

というのも、当社は輸入住宅を扱うハウスメーカーの仕事が比較的多いから

です。輸入住宅は伝統ある様式美と本格的な素材使いが特徴で、慣れないとなかなかプランニングが難しいものです。当社も最初は苦労しましたが、長年実践を通して勉強してきました。現在ではそれなりのノウハウもありますし、ハウスメーカーからお客様からも信頼していただいていると自負しています。また、思い描くデザインがメーカー品になれば、オリジナルでアイアンの門扉などをつくることもあります。

輸入住宅を購入されるお客様は、「どこにでもあるものでは満足できない」というこだわりの強い方が多く、どの仕事も気が抜けません。大きな物件だと10回近くも話し合ったり、プランを練り直したりする場合があります。

スタッフは5名。(設計2名、経理1名、営業&広報1名、現場1名)1つの物件を設計~施工まで一貫して同じ人間が担当しますので、お客様に安心していただいております。

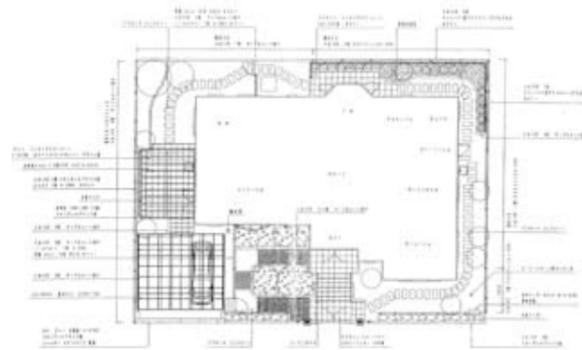
広報活動は特にしていませんが去年の11月にHPを立ち上げました。これは、新規の顧客開拓というよりも、ハウスメーカーから紹介があったお客様に、当社の作品を見ていただくためです。また、エンドユーザーのお客様の割合も増やしたいので、今後はHPをより充実させていきたいと考えています。

現場はすみずみまできれいに! 後々の信用にも関わってきますので



営業&広報担当・お母様の網谷とき子様(写真左)

一つひとつの現場で、仕事をしていねいに、仕上げをきれいに...をモットーに、ずっとやってきました。とくに最後に引き渡すとき、現場をすみずみまできれいに掃除することは大切です。ご近所に迷惑のかからぬ様、絶対に手を抜かないようにしています。こういうことは後々の信用にも関わってきますので、職さんにもチェックを怠らないよう、徹底しています。



レンガ造り+鋳物門扉で風格ある外観に
ST様邸

「網谷ホームさんは輸入住宅のエクステリアを多く手がけているので、信頼しておまかせしました」とご主人。要望は「スロープをつくってほしい」「中庭にテラスがほしい」ぐらいだったとか。完成したエクステリアは、建物と同じレンガや鋳物を使って、建物の風格に負けない重厚感のあるものに。もちろんスロープもテラスも実現。「さすがプロの仕事」と大満足のご主人でした。



【カーポートからのアプローチ】
カーポートの右脇の階段を上ると、玄関への近道がつけられています。門扉はカムファイ、フェンスはニュータウンリード。



【テラスで家族団楽】
カーポートの奥には屋根つきのテラスが設けられ、家族のアウトドアリビングとして活躍しています。

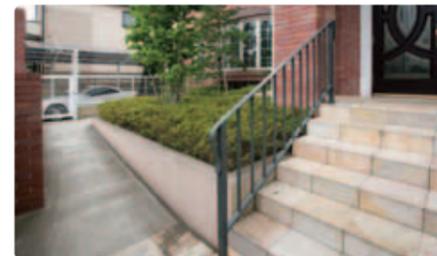


【カーポートもコーディネート】
カーポートにはカムファイRワイドを採用。前面のシャッターゲートはオリジナルでつくったもの。カーポートの屋根に合わせてアールにデザインし、建物と同じレンガを張って外観を統一。

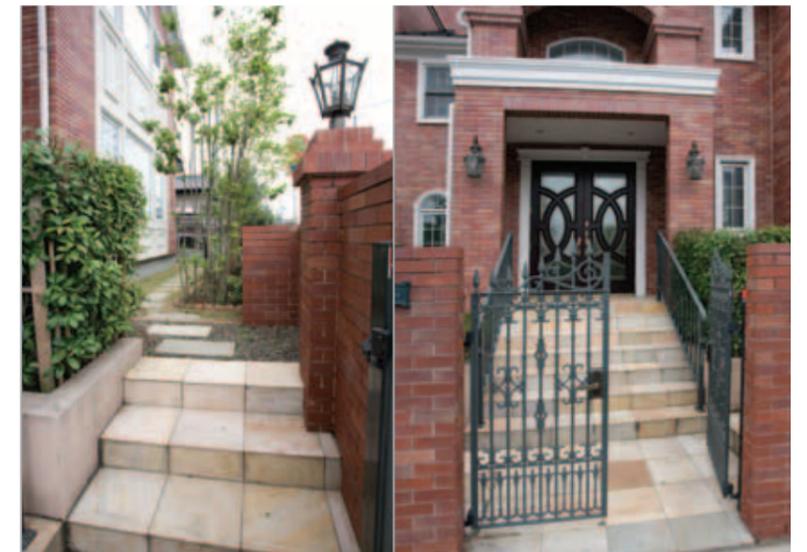


【フェンスまわり】
レンガだけだと重くなりがちなので、繊細な鋳物フェンス・キャストモア4型で軽やかに。足元のアイビーのグリーンが鮮やかなアクセントに。

【玄関側から見たスロープ】
カーポートと玄関をつなぐスロープのアプローチを玄関側から見たところ。人にやさしい設計です。



【スロープのアプローチ】
カーポートからのアプローチは、車椅子を使う家族のためのスロープに。右側のスロープは玄関の階段下へ、左側のスロープは玄関の階段上へつながっています。



【庭の小径】
門に入って右側の小径。家を囲んで、こんな飛び石の小径があるので、ぐるりと散歩するのも楽しそう。

【アプローチ】
門から玄関へのアプローチ。門扉は鋳物門扉を採用して、クラシカルで格調高い雰囲気。



【エクステリア全景】
レンガ造りの重厚な外観が印象的な洋館。エクステリアも建物と同じレンガを用いて、全体が一体感のある外観に。